

日本弁護士
連合会

弁政連ニュース

日本弁護士政治連盟

発行／平成16年10月30日
発行者／日本弁護士政治連盟
〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-1-3
弁護士会館15階
TEL 03-3580-9933

参議院議員当選祝賀会開かれ

弁政連主催の参議院議員当選祝賀会が7月20日午後6時から法曹会館で開かれ、7月11日投票の選挙で目出たく当選された参議院議員5名（代理1名）を含む16名（代理2名）の衆参国會議員の先生方にご出席をいただきました。

安藤良一弁政連幹事長の司会のもと、まず久保井一匡弁政連理事長から、当選された参議院議員の先生方への祝賀と今次の司法改革関連立法の成立に尽力いただいた国會議員の先生方への感謝を込めた挨拶があり、次いで梶谷剛日弁連会長から、やはり当選の祝賀と立法成立に対する感謝の言葉、そして司法改革実現に向けての日弁連の決意表明と予算獲得その他具体化にあたり国會議員の先生方の引続きの支援をお願いしたいとの挨拶がありました。

小堀樹前弁政連理事長に乾杯の音頭を取っていただき、後、出席国會議員の先生方に順次ご挨拶をいただきました。

ご挨拶は、到着順に、千葉景子参議院議員、柴山昌彦衆議院議員、小宮山洋子衆議院議員、江田五月参議院議員、保岡興治衆議院議員、澤雄二参議院議員、森山眞弓衆議院議員、荒木清寛参議院議員、魚住裕一郎参議院議員、今野東衆議院議員、辻恵衆議院議員、山花郁夫衆議院議員、早川忠孝衆議院議員、山口那津男参議院議員、吉田治衆議院議員（代理）、円より子参議院議員（代理）の順で行なわれましたが、当選の喜びの声や祝辞とともに、今後とも日弁連を支援し、司法制度改革に取り組んでゆくとの力強いスピーチが続きました。

会場のあちこちに、出席した81名の会員と国會議員の先生方との談笑の輪ができ、選挙の話題は勿論、先の通常国会での司法改革関連法案審議の実情や今後の取組みについての会話が弾んでいました。

話しあはりませんでしたが、料理が尽きてきた午後7時30分、児玉憲夫弁政連副理事長から中締めの挨拶があり、参議院議員当選祝賀会が終了しました。

最後に筆者の感想ですが、当選された参議院議員の先生方のお顔を拝見していると、本当に晴れやかで、喜びに溢れていました。それだけ選挙というものが厳しいものであったということだと思います。心から、当選をお祝いしてさしあげることが、弁政連と国會議員の絆を強くする第一歩であると実感させられたパーティーでした。

(副幹事長 吉成昌之)

参議院議員当選祝賀パーティー

主催 日本弁護士政治連盟
後援 日本弁護士連合会

参議院議員当選祝賀パーティー

主催 日本弁護士政治連盟
後援 日本弁護士連合会

弁政連が推薦しご当選された 参議院議員の方々からの抱負

①所属党、選挙区

②現在の主な役職

③抱負



市川 一朗

- ①自由民主党、宮城
- ②農林水産副大臣
- ③新時代にふさわしい、司法制度の構築に取り組んでまいります。



鶴保 庸介

- ①自由民主党、和歌山
- ②国土交通大臣政務官
- ③日弁連と併に頑張ってまいります。
今後益々の躍進をお祈りします。



荒木 清寛

- ①公明党、比例区
- ②予算委員会理事
- ③自由で公正な社会をめざし、「大きな司法」実現のため頑張ります。



澤 雄二

- ①公明党、東京
- ②公明党広報局次長
- ③報道、表現の自由と人権擁護。これが記者出身の私の大テーマです。



浜四津 敏子

- ①公明党、比例区
- ②公明党代表代行
- ③「人権・人道・平和先進国日本」の実現に全力を尽くします。



弘友 和夫

- ①公明党、比例区
- ②参議院議院運営委員会理事
- ③参院選の御支援に感謝し、基本的人権擁護と社会正義の実現に尽力



江田 五月

- ①民主党、岡山
- ②民主党・新緑風会議員会長
- ③今こそ、正義と良識。私の公約です。
法の支配を確立しましょう。



小川 敏夫

- ①民主党、東京
- ②民主党参議院政審会長
- ③国民の視点に立脚した真の司法制度改革に取り組みます。



千葉 景子

- ①民主党、神奈川
- ②法務委員会理事
- ③司法制度改革も実施の段階へ。人権、憲法等に関する取組みも期待。



築瀬 進

- ①民主党、栃木
- ②参議院憲法調査会会長代理
- ③国会における憲法論議の様々な論点を整理し方向性を見出したい。



前川 清成

- ①民主党、奈良
- ②参議院法務委員会委員
- ③法と正義が隅々にまで行き渡った公正な社会を全力で目指します。



円 より子

- ①民主党、比例区
- ②副代表
- ③正義と人権を守る司法制度の発展に向け共に力を尽くしましょう。



仁比 聰平

- ①日本共産党、比例区
- ②参院憲法調査会委員他
- ③国会でも、現場と当事者の声という弁護士の原点を貫いて頑張ります。



福島 みづほ

- ①社会民主党、比例区
- ②社会民主党党首
- ③再度国会へ送って頂きました。平和と人権のため、がんばります。



近藤 正道

- ①無所属、新潟
- ②
- ③人権と社会正義そして司法改革実現の為がんばります。

お詫び

平成16年7月20日発行した「弁政連ニュース 第6号」掲載の「第20回参議院議員選挙 弁政連支援議員立候補者名簿」中、近藤正道先生の所属政党を（自由民主党）と記載しましたが、（無所属）の誤りです。
近藤正道先生にご迷惑をおかけしましたことをお詫びし、ここに訂正させていただきます。

弁護士会活動をご支援 いただく国会議員の方々(その5)

- ①所属党、選挙区
- ②現在の主な役職
- ③弁政連にひとこと

《衆議院議員》



小池 百合子

- ①自由民主党、兵庫 6 区
- ②環境大臣
- ③公害、不法投棄等の環境分野でも、御協力よろしくお願いします。



小坂 憲次

- ①自由民主党、長野 1 区
- ②衆議院議院運営委員会筆頭理事
- ③法治国家日本の安心と発展を担う司法改革を皆様と共に頑張ります。



柴山 昌彦

- ①自由民主党、埼玉 8 区
- ②衆議院法務委員
- ③弁護士議員として、公正な社会の実現のために全力で取組みます。



原田 義昭

- ①自由民主党、福岡 5 区
- ②党PFI調査会事務局長
- ③国民のための司法制度。健全な自由競争を担保することが大切です。



吉田 治

- ①民主党、大阪 4 区
- ②民主党副幹事長
- ③「弁護士自治」の社会的意義が、強く問われる時代になりました。

《参議院議員》



松村 龍二

- ①自由民主党、福井
- ②参院法務委員会理事
- ③司法制度改革を成功させたいし、行刑制度改革も成功させたい。

日弁連副会長 インタビュー

平成15年度の活動を 振り返って

インタビュー項目

- 1 国会対策として取り組んだ平成15年度の活動内容。
- 2 弁政連の活動との連携状況。
- 3 取り組んでみての成果・反省点・感想など。
- 4 次年度以降の取り組みをどのようにしたらいいか。具体的提案など。

(編集部)

平成15年度
日弁連副会長



田 中 敏 夫
(東京弁護士会)

1 司法改革の制度づくりの最終局面であった平成15年度、日弁連は「市民の司法」を実現すべく法律案作成の初期の段階から深く関与しました。

まず、政権党である自民党の司法制度調査会関係の各種委員会の会合にはベタに張りつき、情報を収集し、必要なときには意見を述べました。

また、個別の議員対策も徹底して行いました。政権党のパートナーである公明党の考え方は全体として日弁連の考え方近く、特に裁判員制度

づくりでの与党PTに生かされました。

各法案の閣議決定がなされ、国会に提出されてからは野党とりわけ民主党対応に時間をかけました。会期が6月16日までというタイトな国会状況の中で、閣議決定された法律案は敗訴者負担問題を除いては通す、法律案の中で問題のあるところは修正させる、国会質問と答弁で可能な限り前向きな答弁を引き出すとの大方針の下、野党対策をしました。

幸い野党の理解も得、司法改革重要法案は成立したのです。

2 時期に応じた政党との懇談会、そして弁政連の支援する議員の集まりへの参加は、弁政連が主催していただき大きな成果をあげたと思います。

3 平成15年度は推進本部・検討会対応、最高裁、法務省対応もありましたが、最も力を注いだのは政治家対応であったことは間違いません。

これを重点的にやったからこそ、不十分な点はあるにせよ、「市民の司法」に向けての大きな改革をすることができたと考えます。

4 今や、弁護士会は「市民の司法」の立場から、自己改革を含め本気で司法改革の先頭に立っていると思われています。

今通常国会での司法改革法案の成立に間違いなく大きな役割を果したのは日弁連でした。

日弁連のプレゼンスは高まっています。

国会議員、政党との懇談会の頻度をふやし、日弁連の考え方（基本的に世の中に対して説得力をもつていると思います）をもっともっと理解してもらい、さらにプレゼンスを高めましょう。

平成15年度
日弁連副会長

尾崎純理
(第二東京弁護士会)



- 2 弁政連には、朝食会や懇親会の設定などを通じて、様々な形で日弁連をバックアップしていただきました。特に昨年11月には総選挙が行われましたが、弁政連としては初めて本格的に取り組むことができたのではないかでしょうか。活動の充実に伴い弁政連主催のパーティーなどに出席する国会議員は、質量ともに飛躍的に充実してきています。
- 3 日弁連に対しては、民間のクオリティーの高いシンクタンクとして、世論や政党、あるいは時として行政側からの期待が大きいことを実感しました。立法に携わる議員は、与野党を問わず、そのほとんどは志も高く、まじめで勤勉であり、我々の意見を謙虚に聞き、理解度も早いです。従って、我々が独善に陥らず、権益に偏らず、社会が必要とする方針を策定し、わかりやすく説明することができれば、結果はついてきます。
- 4 立法は、行政内部における検討と同時並行的に、自民党の部会における検討が始まります。また連立与党である公明党の法務部会に対する説明も行われます。重要な課題については与党PTで検討され、このPTで結論が得られない場合は幹事長レヴェルの折衝となります。閣議決定の後には、野党である民主党に対する行政側の説明が始まります。日弁連はこのような行政の動きに対応し、時には先行して関係議員と打ち合わせを適宜行い、日弁連の基本的な考え方について理解を得る必要があります。重要な段階では、文字通り時々刻々と情勢は変化します。この濃厚な時間に、いかにキーマンである人物と休日、夜間を問わず意思疎通ができるかが、結論を大きく左右することになります。活躍を期待します。

平成15年度
日弁連副会長

市川茂樹
(札幌弁護士会)



- 合意的、網羅的に伝える場として、極めて有効だったと思います。各政党側も日弁連との会合を重視し、幹部の方が多数参加されていたことが印象的でした。
- 3 議員の方々は、日弁連副会長と名乗ると、紹介者なしで面会に応じてくれます。議員の方々も、テーマについての整理が必ずしも進んでいなかったり、情報を充分得ていないことがあります。日弁連としてお役に立てたことも多かったのではないかと思います。省庁の考えとは別の意見をセカンドオピニオンとして提供できたこともあります。
- 4 立法は、関係各方面との幾重にもわたる気の遠くなるような調整作業の結果でもあります。本林執行部は、立法の早い段階から、省庁とは別の建設的意見を提示するよう努めてきました。早い段階から関与するということは、それなりの責任も伴いますが、日弁連の意向を最もよく反映する方法であり、この試みは維持されるべきものだと思います。

弁政連活動日誌(7)

自 平成16年6月29日
至 平成16年9月30日

7月1日 在京正副理事長会議	7月23日 北海道弁連大会に久保井理事長、三羽副理事長が出席
7月5日 弁政連ニュース編集会議	8月20日 弁政連ニュース編集会議
7月9日 東北弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長出席	9月2日 在京正副理事長会議
7月12日 弁政連ニュース編集会議	9月25日 関弁連大会に久保井理事長、三羽副理事長が出席
7月20日 弁政連ニュース第6号刊行・在京正副理事長会議・参議院議員当選祝賀会	

編集後記

参議院議員選挙が終了し、ほっと一息というところです。気持ちも新たに司法改革秋の陣に備えたいと思います。

(あんどう)

つつあるように思われます。

(あいかわ)

国会議員の先生から、多数の玉稿をちょうだいしました。今後とも、この弁政連ニュースからさまざまな情報を発信していきたいです。

(うすい)

7月11日の参議院議員選挙で当選された弁政連支援議員の先生方、お目出とうございます。今後とも引き続きご支援をお願いいたします。

(よしなり)

「日弁連副会長インタビュー」では、平成15年度の3副会長から、弁政連との連携によりいかにして日弁連の考え方を、今次の司法改革関連法案に反映できたかをわかりやすく語っていただきました。

(やまぐち)